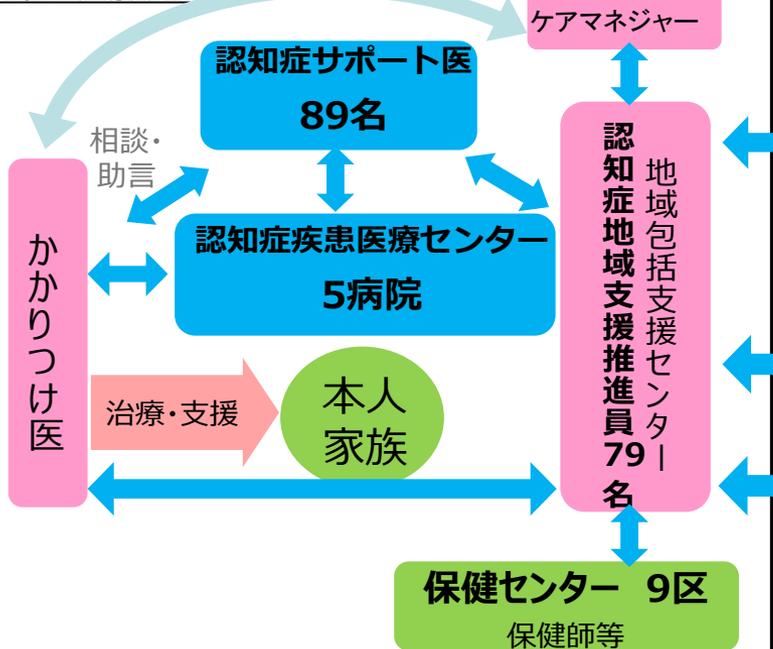


神戸市の認知症施策の体系 (事業は28年度末実績, ※は29.8月末現在)

Ⅲ. 地域での治療・介護の場

- ・医療介護職を対象とした認知症研修 (かかりつけ医、病院の医療従事者、介護職員など)

日常の支援者



認知症初期集中支援チーム 4区

※専門職のコーディネーター兼チーム員 3名
(各区サポート医1名以上と専門職2名以上で構成)

こうべ認知症生活相談センター (専門職 4名)

医療介護サポートセンター 9区

※専門職のコーディネーター 各区2名 合計18名
※各区医師会が運営

初期集中支援事業の課題

- ①軽度者 (認定非該当者等) への社会資源不足
- ②自動車運転相談及び免許返納者への対応
- ③独居者の支援方法
- ④認知症カフェ等への認知症サポーターの参加
- ⑤事業対象者について (把握方法や状態)
- ⑥事業利用を拒否している方への働きかけ (本人が病気を否認、家の中に入られることを拒否、家族だけでまだ介護できると考えている等)
- ⑦事業実施人材の確保・育成

◎その他の資源

- ・ほっとヘルパーサービス 保険外サービス (認知症高齢者訪問支援員派遣事業)
- ・若年性認知症事業
デイサービス等職員・ケアマネジャー向け研修、交流会・サロン (神戸市社会福祉協議会・老人保健施設主催の2箇所)

< 県警による取組み >

- ・行方不明高齢者SOS (FAX) ネットワーク
- ・運転経歴証明書の発行
- ・運転免許更新センター (明石) での看護師による運転適性相談

I. 予防・早期介入

- ・WHO神戸センター等の共同研究
- ・フレイルチェック
- ・小学校区での介護予防事業 新規

II. 事故の予防と救済

- ・事故救済制度の創設
- ・運転免許証の返納推進

IV. 地域の力を豊かに

- ・認知症カフェ (29か所)
- ・認知症サポーター (約8万人)
- ・訪問サポーター (認とも) 養成・派遣 新規
- ・認知症ケアパス (各区で作成)
- ・認知症地域支援推進員の配置 (99人)
- ・高齢者安心登録事業 (364名登録、21件検索メール)
- ・行方不明者緊急保護事業 (10人, 24日保護)
- ・認知症高齢者声かけ訓練 (4区)